



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東・大
 コード番号 2907 URL http://www.ahjikan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 兼 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,512	2.5	468	381.7	412	—	216	—
24年3月期第2四半期	17,089	3.9	97	△75.8	△0	—	△36	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 178百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △48百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	28.50	—
24年3月期第2四半期	△4.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	17,099	8,887	52.0	1,167.71
24年3月期	17,425	8,800	50.5	1,156.25

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,887百万円 24年3月期 8,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	2.7	720	△2.3	770	4.2	370	8.5	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料] 3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	7,700,000株	24年3月期	7,700,000株
25年3月期2Q	88,961株	24年3月期	88,861株
25年3月期2Q	7,611,072株	24年3月期2Q	7,611,296株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) その他の注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかながら回復傾向が見られたものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速や円高の定着などにより、依然として先行不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましても消費者の節約志向は依然として強く、同業他社との低価格競争が激しさを増す一方で、高止まりする原油・穀物価格などが企業収益を圧迫する厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは第9次中期経営計画をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを開始いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,512百万円（前年同四半期比2.5%増加）、営業利益は468百万円（前年同四半期比381.7%増加）、経常利益は412百万円（前年同四半期は経常損失0百万円）となり、四半期純利益は216百万円（前年同四半期は四半期純損失36百万円）となりました。

なお、セグメント別では営業部門におきましては、西日本エリアを中心に仕入商品の需要減少もありましたが、特に東日本エリアにおいて、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、弁当店を中心に厚焼玉子や野菜加工品などの自社製品及び自社企画ブランド品の需要が増加し、売上・利益とも前年同四半期上回る結果となりました。また、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても各種イベントや販売活動などにより、当初計画を大きく上回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇による製造原価の引き上げ要因はありましたが、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が需給の関係から前年同四半期に比べ大幅に低下していることや、省エネ活動などの効果もあり、製造原価率は前年同四半期を大きく下回る結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ326百万円減少し17,099百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し9,622百万円となりました。主な減少要因は、借入金の返済や法人税等の支払などによる現金及び預金の減少206百万円、商品及び製品の減少104百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し7,477百万円となりました。これは生産設備を中心とした固定資産の取得による増加要因があったものの、減価償却の進行や投資有価証券の時価評価などが主な減少要因となったためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ413百万円減少し8,211百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し7,189百万円となりました。主な増減要因は、仕入れに伴う支払手形及び買掛金の増加307百万円、賞与引当金の増加69百万円、約定返済に伴う短期借入金の減少484百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ205百万円減少し1,022百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少189百万円などです。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ673百万円減少し2,882百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し8,887百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上による増加216百万円、剰余金の配当による減少91百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント上昇し52.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し1,222百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、899百万円（前年同四半期比131.0%増加）となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上405百万円に加え、減価償却費273百万円や賞与引当金の増加69百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資金359百万円などが主なプラス要因となったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、285百万円（前年同四半期比37.2%増加）となりました。これは、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、822百万円（前年同四半期比237.7%増加）となりました。これは主に、借入金の返済による減少（純額）673百万円やリース債務の支払43百万円、配当金の支払90百万円などであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間までの業績は、主に当社グループの主要原材料である鶏卵価格が当初見込み以下で推移したこともあり、営業利益段階で当初予想（平成24年5月14日公表）を上回る結果となりました。しかしながら第3四半期以降につきましては、鶏卵価格が上昇する需要期を迎えることや、穀物価格の高止まりによる派生コストの増加懸念など流動的な要素も多いため、現時点において、平成24年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新規設立により株式会社あじかんアグリファームを連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,402	1,332,461
受取手形及び売掛金	※ 5,420,804	※ 5,495,544
商品及び製品	1,867,695	1,763,602
仕掛品	7,489	5,623
原材料及び貯蔵品	741,869	716,792
繰延税金資産	135,624	160,498
その他	182,882	163,156
貸倒引当金	△19,894	△15,621
流動資産合計	9,875,874	9,622,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,641,612	1,592,039
機械装置及び運搬具（純額）	954,220	1,024,359
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	58,621	71,992
その他（純額）	223,989	211,062
有形固定資産合計	5,835,739	5,856,750
無形固定資産		
リース資産	57,556	48,854
ソフトウェア	150,632	123,898
その他	24,703	24,800
無形固定資産合計	232,892	197,553
投資その他の資産		
投資有価証券	550,071	458,377
繰延税金資産	84,194	109,499
その他	864,288	875,555
貸倒引当金	△17,708	△20,693
投資その他の資産合計	1,480,845	1,422,738
固定資産合計	7,549,477	7,477,041
資産合計	17,425,352	17,099,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 2,627,536	※ 2,935,400
短期借入金	2,978,700	2,494,700
未払法人税等	218,315	223,651
賞与引当金	266,000	335,000
役員賞与引当金	26,046	15,104
リース債務	79,485	76,755
その他	1,200,927	1,108,510
流動負債合計	7,397,012	7,189,122
固定負債		
長期借入金	577,400	388,000
退職給付引当金	149,040	133,345
役員退職慰労引当金	306,516	319,127
資産除去債務	43,454	43,741
リース債務	151,569	136,762
その他	—	1,500
固定負債合計	1,227,981	1,022,477
負債合計	8,624,993	8,211,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,756,739	6,882,315
自己株式	△64,219	△64,300
株主資本合計	8,893,759	9,019,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,758	△15,796
為替換算調整勘定	△131,158	△115,959
その他の包括利益累計額合計	△93,400	△131,756
純資産合計	8,800,359	8,887,498
負債純資産合計	17,425,352	17,099,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	17,089,547	17,512,230
売上原価	13,237,653	13,112,020
売上総利益	3,851,893	4,400,209
販売費及び一般管理費	※ 3,754,615	※ 3,931,647
営業利益	97,278	468,562
営業外収益		
受取利息	923	900
受取配当金	4,566	5,229
通貨スワップ評価益	3,289	24,328
持分法による投資利益	8,563	6,205
その他	8,870	12,473
営業外収益合計	26,214	49,137
営業外費用		
支払利息	16,924	16,498
為替差損	53,056	43,681
長期為替予約評価損	51,807	44,248
その他	1,856	1,228
営業外費用合計	123,643	105,658
経常利益又は経常損失(△)	△151	412,041
特別利益		
投資有価証券売却益	—	895
特別利益合計	—	895
特別損失		
固定資産除却損	2,792	7,416
投資有価証券評価損	3,550	—
特別損失合計	6,342	7,416
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,494	405,520
法人税、住民税及び事業税	36,844	211,471
法人税等調整額	△6,408	△22,861
法人税等合計	30,435	188,610
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,930	216,909
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,930	216,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,930	216,909
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△23,698	△53,554
為替換算調整勘定	8,223	10,533
持分法適用会社に対する持分相当額	3,466	4,665
その他の包括利益合計	△12,009	△38,355
四半期包括利益	△48,939	178,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,939	178,554

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,494	405,520
減価償却費	324,042	273,906
賞与引当金の増減額(△は減少)	64,000	69,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,709	△10,941
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,040	12,611
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,593	△15,694
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,535	△1,287
持分法による投資損益(△は益)	△8,563	△6,205
受取利息及び受取配当金	△5,490	△6,129
支払利息	16,924	16,498
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△895
通貨スワップ評価損益(△は益)	△3,289	△24,328
有形固定資産除却損	2,792	7,416
投資有価証券評価損益(△は益)	3,550	—
売上債権の増減額(△は増加)	△97,831	△81,895
たな卸資産の増減額(△は増加)	△81,637	134,151
仕入債務の増減額(△は減少)	331,975	307,379
未収入金の増減額(△は増加)	23,593	4,136
未払金の増減額(△は減少)	△20,552	△26,612
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,403	18,882
その他	△17,347	30,097
小計	489,275	1,105,610
法人税等の支払額	△99,606	△205,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,669	899,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,241	△3,781
投資有価証券の売却による収入	—	15,499
有形固定資産の取得による支出	△177,814	△303,044
無形固定資産の取得による支出	△18,810	△8,694
利息及び配当金の受取額	5,488	14,353
その他	△12,565	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,944	△285,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△400,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△182,400	△273,400
利息の支払額	△17,001	△14,910
リース債務の返済による支出	△54,412	△43,556
自己株式の取得による支出	△78	△80
配当金の支払額	△89,796	△90,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243,688	△822,853
現金及び現金同等物に係る換算差額	849	1,297
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,114	△206,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,620	1,429,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,692,506	※ 1,222,461

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,089,547	—	17,089,547	—	17,089,547
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,464	4,612,010	4,613,474	△4,613,474	—
計	17,091,011	4,612,010	21,703,021	△4,613,474	17,089,547
セグメント利益	1,171,595	11,231	1,182,826	△1,085,548	97,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,085,548千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031,099千円及びたな卸資産の調整額△54,878千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,512,230	—	17,512,230	—	17,512,230
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	442	5,045,069	5,045,511	△5,045,511	—
計	17,512,672	5,045,069	22,557,741	△5,045,511	17,512,230
セグメント利益	1,185,052	287,688	1,472,740	△1,004,178	468,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,004,178千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△1,018,499千円及びたな卸資産の調整額27,510千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	18,240千円	30,447千円
支払手形	133,205	161,678

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	811,349千円	833,269千円
賞与引当金繰入額	202,000	207,000
役員賞与引当金繰入額	11,525	13,367
退職給付費用	71,840	74,190
役員退職慰労引当金繰入額	8,816	12,611
貸倒引当金繰入額	△13,569	2,953
荷造運賃	915,745	976,331

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,702,506千円	1,332,461千円
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△10,000	△110,000
現金及び現金同等物	1,692,506	1,222,461